

目次

国際極運動観測事業中央局の歩み	弓	滋	46
高野長英訳遜謨児四星編について	須川	力	50
小惑星の光度と個数について	古川	麒一郎	53
天象欄——3月の天文暦、天王星・海王星の運動、ヘルクレス座新星			56
40年間を回顧して	鎗木	政岐	57
会員諸氏の太陽黒点観測報告			59
1963a 彗星の発見事情	池谷	薫	60

表紙写真説明

池谷彗星——1963年1月26日19時22分(U.T.)より6分間の露出で、東京天文台 堂平観測所の91cm鏡主焦点で写した池谷彗星、左下の明るい星はC D. -39°8652 (8.8)

◆春季年会のおしらせ

1963年度の春季年会を下記のように開催いたします。会員諸氏の御参加をお待ちいたします。

日時: 1963年5月9日(木)~11日(土)(予定)

場所: 東京都文京区東京大学医学部総合中央館3階大集会室の予定

講演申込: 本号付録の講演申込用紙に記入の上、3月31日までに本会年会係に到着するように、お申込下さい。

アブストラクト: 講演予稿集に集録するため、講演を申込まれた方は、講演内容の概要を3月31日までに年会係に御提出下さい。アブストラクトは400字以内、左横書きに願います。予稿集は、特別会員には一部無料で差上げます。二部以上御入用の方、又は通常会員で御希望の方は、一部につき実費50円(送料共)をそえてお申込下さい。なお年会々場にてもおわかちいたします。

東京都三鷹市大沢 東京天文台内
社団法人 日本天文学会

日本の観測者

気象庁 根本順吉編著 B6 ¥380 円80

仕事は大へん地味であるが、科学や技術の現場で着実な仕事を続けている人達、科学や技術の裾野にあって、それらの進歩に大きな支えとなっている人達、これらの人々はどんな人達で、何を考えておられるだろうか。この書は十一名の地球物理学関係の仕事にたずさわっている人達の貴重な話題を提供してくれる。

内容目次

- 藤村 郁雄.....富士山頂で観測を続ける人
- 高木菊三郎.....地図と共に歩んだ五〇年
- 須川 力.....天文と気象の間をつなぐ人
- 壮瞥村役場の人々.....昭和新山を見まもる人々
- 中田 美明.....電波で人工衛星を追う人
- 小楨孝二郎.....流星観測を続けて四〇年
- 佐藤 孫七.....海に生きる実学者
- 宮崎友喜雄.....宇宙線の観測を続ける人
- 大阪市立衛生研究所.....汚染と取り組む人々
- 大西 正巳.....砂丘に火山灰土を採る人
- 荘田幹夫・古川 巖.....雪害と取り組む人々

一般天文学 京大教授 藪内 清 著 ¥280

東京都新宿区三栄町8 恒 星 社
振替東京 59600



天文博物館

五島プラネタリウム

東京・渋谷・東急文化会館8階
電話 青山(401) 7131, 7509

☆ 3月 季節のうつりかわり
☆ 4月 南十字星

投影時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
平日	団体 9.30	11.00	12.30	2.00	3.30	5.30	7.00
日曜・祭日	9.30	11.00	12.30	2.00	3.30	5.30	7.00

○11月~2月の間は平日7.00の回は中止します。
○休館日 毎週月曜日(ただし5月と8月は無休館です。)
○料金 大人100円・中人70円・小人50円

